

「学校ニューノーマル」への第一歩

教務主任 田辺 俊勝

上智大学の奈須正裕さんは、Web サイト「学校と ICT」* の特集の中で、コロナ禍の学校の取組から得られた二つの大切な視点として、次のことを指摘しています。

視点 1 歴史的に定着した学校の役割や学校行事の在り方を見直す

今回のコロナ禍によって、これまで学校教育の長い歴史のなかで継続してきたさまざまな行事を変えたり、止めたりしても特に支障がないことが明確になりました。

視点 2 「子どもの学び」から学校行事の在り方を見直す

学校行事を見直す際は、ぜひその出自を踏まえて、時代に沿った最適な在り方を考えてほしいと思います。

～（略）～教科の授業以外のさまざまな活動の中で、子どもたちは確実に育っています。授業以外の取り組みが重要であることは間違いありません。けれども、学校全体としては少しやりすぎているのではないかと思います。私たちはコロナ禍によって、学校行事が大切にすべきものは「形」でも「見栄え、でき栄え」でもなく、「子どもの学びや育ち」であることに気がつきました。学校行事など、学校の判断に任されている部分については、ぜひ育てたい子どもの姿を明確にし、各校で工夫して取り組んでいただきたい。そして、新型コロナウイルス感染症を前提にした新しい社会生活「ニューノーマル」を超えて、持続可能な新しい学校の姿「学校ニューノーマル」を作り上げてほしいと思います。

*Sky 株式会社 学校と ICT ICT を活用した学習活動をサポート ニューノーマルにおける学校教育＜前編＞「コロナ禍の教訓を生かし、持続可能な新しい学校の姿を」<https://www.sky-school-ict.net/shidoyorvo/210423/>

当校でも、1 学期は「できない」から「どのように行うか」と発想を転換し、様々な工夫を凝らしながら行事等を行ってきました。

入学式は、来賓等の人数を精選したり、在校生はオンラインで参加したりしながら、新入生の入学を祝いました。昨年度中止であった運動会は、密を避けるために、赤白黄の 3 軍編制での実施を計画しましたが、感染状況の悪化から、学部別参観日と内容を柔軟に変更して実施しました。また、昨年度は校内のみの学習活動が基本でしたが、事前に新型コロナウイルス対策等を十分に検討することで、遠足や修学旅行、校外学習などを年間計画に沿って実施してきました。どの行事でも、子供たちの生き生きと活動する姿や、たくさんの笑顔が見られ、校外に出て本物に触れる活動の良さ、多くの人たちとかかわり、触れ合うことの良さを改めて実感することができました。正に、子供たちに育成したい資質・能力は何かをしっかりと見極め、そのために必要な学習活動を職員全員で考え、工夫してきた成果であると思っています。

新型コロナウイルスについては、ワクチン接種が進んではいるものの、まだまだ落ち着かない状況が続いています。2 学期も、子供たちに身に付けたい力や、学習活動等の価値をしっかりと見極め、子供たちが「やりがい」を感じながら夢中になって学習に取り組めるように更に工夫を重ねていきたいと思っています。いよいよ明日から夏休みです。まずは、東京オリンピック・パラリンピックを家庭で応援しましょう。ガンバレ ニッポン！



新潟 新発見！～修学旅行に行ってきました～

中学部3年担任 畠山 瞳・端谷 勇樹

中学部3年生は、6月3日～4日に修学旅行に行ってきました。「まだまだ知らない、新潟の魅力的なところを探そう！」「行ったことがあるところも、さらに楽しめるポイントを見付けよう！」をテーマに、阿賀野市・阿賀町を巡り、「安田瓦を割る体験」、「森林科学館での木工体験」、「釣り堀体験」などの体験学習やサントピアワールドでのアトラクション体験を6人全員で思いっきり満喫してきました。

1日目の「安田瓦を割る体験」では、「投げて爆音コース」と「割って発散コース」の2つのコースから選んで、体験してきました。雪国仕様の丈夫な安田瓦（瓦割り用に特別加工済みのもの）を、グローブやヘルメットを装着し、投げたり拳を打ち込んだりして、みんな見事に割ることができました。また、宿泊先の裏五頭山荘での「釣り堀体験」では、イワナやヤマメ、ニジマスなどを釣り上げ、釣りの楽しさを味わい、あっという間に炭で調理される様子を見て驚いたり、自分たちが釣った魚を焼きたてでおいしくいただいたりと、充実した時間を過ごすことができました。

2日目は、あいにくの雨模様でしたが、サントピアワールド「雨の日コース」をみんなで元気に体験し、いつもは行く機会がなかったトリックアートや迷路のアトラクションを楽しんできました。

生徒一人一人が「私のおすすめポイントは、ここ！」を見付け、6人全員だからこそ楽しむことができた修学旅行でした。



1学期を振り返って ～各学部の様子を紹介します～

カラーボール遊び、「さいこーう！！」

小学部 1組担任 住吉 泰斉

小学部1組では、遊び学習で「カラーボール遊び」をしました。多目的教室内に設置した大型テントに、カラーボールを大量に入れた遊び場を作りました。遊び学習の時間になると、「ボール遊びに、レッツ、ゴー！」の掛け声と共に教室から駆け出して遊び場に向かう姿が見られました。

最初は、カラーボールそのものの感触を楽しみながら、握ったり、足で踏んだり、ゴロゴロと寝転がったりして遊んでいましたが、繰り返し遊ぶ中で、台の上からボールの中に飛び込んだり、ボールの中に体を埋めたりするなど、全身を使ったダイナミックな遊びへと広がっていきました。「〇〇さんがいなくなっちゃった。」と、ボールの中に隠れた友達を探す遊びをしたり、箱に入れたボールを友達に掛けたり、教師が降らせるボールの雨からみんなで逃げ回ったりと、教師や友達とかかわりながら遊ぶ姿もたくさん見られました。

子供たちは遊び学習が大好きです。2学期も、子供たちが「早く遊びたいな。」「いっぱい遊んで楽しかった！」という思いをもてる学習にしていきます。



サマーフェスティバル 大成功！

中学部 1年担任 櫻井 円

中学部では、7月1日（木）に「中学部サマーフェスティバル」を開催しました。「中学部みんなが楽しめる活動にすること」をテーマに生活単元学習で約1ヶ月前から企画と準備を進めました。

1年生は、制限時間内に、ボールを布に乗せて運び、運んだボールでボウリングや的当てにチャレンジするオリジナルレクリエーションを企画しました。どんなボールを使うのか、どんな的にするのかなどをクラスみんなで相談したり、自分たちでレクを何度も試したりしながらつくり上げました。また、運営にかかわる仕事を分担し、一人一人が自分の役割に自信をもって取り組めるように練習しました。活動を進める中で、準備から後片付けまでを自分たちで行うことができるように、友達と協力して取り組む姿が見られるようになってきました。

当日は、参加した他学年の友達からは「楽しい！」「もう一度やりたい！」などの声が聞かれ、充実感を味わうことができました。目的意識をもち、自分の役割を果たしながら友達と協力して笑顔で活動に取り組む生徒たちの姿から、1学期の学習の成果を実感することができました。



【中1 みんなで協力オリンピック】



【中2 ミッション輪投げ】



【中3 ポンポン迷路】

「ハイテン（１０）ション！がんばりパッション！」

高等部１年担任 保坂 吉彦

高等部１年生は、男子５人、女子５人の、校内で人数の一番多い１０人クラスです。「ハイテン（１０）ション！がんばりパッション！」を学級目標に掲げ、パッションあふれる毎日を送っています。新しい友達にも、自分から話し掛けたり、一緒に活動を楽しんだりしながら絆を深めてきました。また、職業生活や社会生活などの新しい学習に期待感をもち、積極的に活動に参加し、楽しむ姿が見られました。

１年生にとって初めてとなる「プレ社会人プロジェクト」では、すてきな社会人になることを目指して活動に取り組みました。準備期では壮行会に向けて、自分の目標を真剣に考えたり、みんなにしっかりと伝わるように発表練習に取り組んだりしました。本番では、堂々と目標を発表し、前向きに頑張ろうという気持ちが伝わってきました。実践期では、校内の各模擬事業所の仕事に一生懸命取り組み、長い時間でも集中して仕事に取り組んだり、仕事について活発に意見交換をしたりするなど、生き生きと取り組む姿が多く見られました。今後も、高等部では卒業後の生活に向けた様々な活動を予定しています。仲間と助け合いながら、全力で活動に取り組み、更に成長してくれることを期待しています。



☆いよいよ夏休み☆

１学期間、保護者の皆様からは、当校の教育活動にご理解とご協力をたくさんいただきました。毎日、元気に健やかにお子さんを学校へ送り出してくださり、本当にありがとうございました。明日から３５日間の夏休みとなります。「新しい生活様式」の中ではありますが、夏だからできること、長い休みだからできることを大事にして過ごしていただきたいと思います。有意義な夏休みとなりますよう、職員一同、心より願っています。

